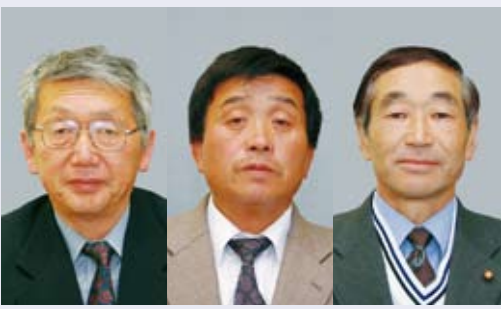


副市長に石山氏

11月30日に臨時市議会が開催され、10月29日に辞職した副市長の後任に石山修氏（63）を選任する議案が提出され、賛成多数で同意となった。任期は12月1日から4年間。

石山副市長は県職員OB、市長が村職員時代に県に出向の時の上司とのこと。抱負を伺いました。



▼仙北市の第一印象は？

着任してすぐに定例議会が開催され、当初予算に関する基本的取り組みの方針にさかのぼって業務対処することとなったため、ずっと仙北市に住んでいるような感じを強くしている所です。

▼副市長としての決意は

門脇市長のマニフェストの実現に向け、職員と一体となって、その具現化に日夜邁進していく（既に突入してますが）決意です。昭和21年9月5日生まれ、63歳。1

教育委員長佐久間氏



任期満了に伴う教育委員の任命案を全会一致で同意した。

市教育委員5名の内2名が11月24日に任期満了により退職、欠員2の内1名のみ提案だった。前教育委員の佐久間氏（65）を任命する事に全会一致で同意す。もう一名の委員任命案は3月定例会に提案との事。それ

までの体制は

委員長 佐久間健一
委員長職務代理者 阿部 哲男
委員 安藤 満里
委員 三浦 陽一

新選挙管理委員を選出

任期満了に伴う選挙管理委員については、市議会における選挙で選出する規定となっていることから、各地区の議員が本人の同意を得て推薦名簿を提出、本会議で指名推薦により委員4名、補充員4名をそれぞれ選出した。新選挙管理委員は次の通り。

佐々木昭雄氏（72）田沢湖
高橋正美氏（60）角館
佐藤透氏（67）西木
藤原儀英氏（65）田沢湖
補充員は
戸澤幸作氏（61）角館
武藤薫氏（69）西木
千葉継太郎氏（61）田沢湖
菅原操氏（67）角館。



会派紹介 日本共産党仙北市議団

同会派は日本共産党の地方自治理念である「住民が主人公」の精神に基づき、他会派と同時期に結成されました。

合併前、旧三ヶ町村議員が一緒になったため、成り立ち、環境、活動スタイルなどそれぞれ独特のものもあります。しかし共通して言える

行政と市民のパイプ役

民とのパイプ役として、また、相談活動を活発化し、より開かれた仙北市役所として、市民に役立つ組織となるよう努力し

わせ、意見交換を行い意思統一に努めてきました。上級機関（県委員会）の自治学習会にも出席

し、勉強しています。今春予定の改選に向け、更に市民にお役に立つよう、益々努力し、市民の良き相談相手となり、自己啓発に努めたいと思います。また、議会では他会派と一致点を見いだし、協働し議案、予算等対応していきます。

編集後記

暮れの12月25日、改築中の神代小学校の竣工式が行われた。

新築の校舎は廊下がこれまで倍くらい広く、明るい。二階の明かり採り屋根からの自然光が一階の廊下まで届く設計だ。鉄筋コンクリート造りだが、内装に木材をふんだんに使い木造建築のような暖かみのある学校だ。

この竣工式には地元の方や工事関係者など多くの人が出席し、議会からもほとんどの議員が出席した。

議会を代表して佐藤議長は「地域の方々の要望が詰まった学校だ。中国の古い諺に『水を飲むときは井戸を掘った人に感謝して飲むべし』というのがある。この学校を作ってくださった方々に感謝して使おう」と祝辞を述べた。

喜び溢れる子供達の姿が目に見え、教育環境整備の効果が出るよう期待したい。